



波 瀾

一層の飛躍を

期待して



神奈川学習センター長

新飯田 宏

一九八八年度に初めての卒業生を送り出したから、九八年度までの十一年間に、放送大学の卒業生はのべ一三、五〇〇人ほどになったようです。皆さんは、いわゆる学士号をもつ大卒者として社会的に認知され、活躍されているわけですが、私はまだ就任五カ月に満たない新米で、学習センター長として卒業生を送り出した経験もありません。以下では、同窓会の一層の飛躍を期待しつつ、若干のお願いを述べさせて戴くことにします。私はこれまで長いこと、一〇代後半から

二〇代前半の学生を教育する伝統的な大学で卒業生を生産していたせいなのか、同窓会と言うと、年代別に固有のイメージがあって、彼らの特徴を思い浮かべるのが常でした。これはアメリカでも同じようです。同窓生のことを「Alumni」といいますが、Alumniにもいろいろ異なる活動があります。イェール大学の客員教授の時の経験ですが、卒業式の当日、毎年ある特定年次(卒業後三〇年)の卒業生が大挙して大学に集まり、自分の所属していた各カレッジの旗を先頭に卒業式会場まで行進していくのがとても印象的でした。彼等は新卒業生を祝福しながら、同時に同窓生の義務として、伝統となつていく一つの慣行を新卒者に教える役割も果たしていたようです。つまり、「君達も三〇年後には、今日のわれわれと同じように新卒者を祝福するために卒業式に参集し、かつ卒業三〇年の記念として、大学に幾ばくかの寄付をするものだ」と言うことです。このとき、大多数の同窓生は、当然ですが、ほぼ五十五歳前後なのです。しかし、放送大学は、「いつでも、だれでも、一学べる大学の特徴から、入学時の学生の年齢はも

ちろん、学生の社会的な属性も極めて多様です。したがって、卒業後の同窓生の皆さんの社会的な属性も、ものの考え方も、人生経験も、全く多様な筈です。これは同窓会という組織を考えると、一つの長所として活用すべき点だと思います。恐らく、伝統的な大学の同窓会とは異なる新しいタイプのalumniになり得る要因ではないでしょうか。是非、放送大学の特徴を十分発揮するように工夫して欲しいものです。特に、放送大学における皆さんの経験を周りの人々に伝えるネットワークになって戴きたい。まだ歴史の浅いユニバーサルな放送大学を世に知ってもらおう最も効果的な情報は、皆さんの大学における勉強の経験だからです。いうまでもなく、同窓の友が増えることは放送大学の教育にとっても、同窓会という組織にとっても大きなプラスです。同窓会はクラブ原理の働く公共財です。クラブを良い組織にするかどうかは、モラル・ハザードに対処しつつ、クラブメンバー一人一人がその役割を果たすことです。つまり、大卒の社会人としての役割をきちんと果たし、クラブの目的に整合的な行動をすることです。一層の飛躍を期待します。

同窓会創立十年目を迎えて

を迎えて

神奈川学習センター同窓会会長

藤井 輝



第10回放送大学同窓会

神奈川学習センター同窓会は創立以来十年目を迎え、五月十六日第十回通常総会を無事終了致しました。来春には連合会が纏め役と

なつて、各同窓会が地域単位で十周年記念行事を行うことになり、実行委員会も発足致しました。神奈川学習センター同窓会ではこれを機に、活動方針の具体化、特に継続性を検討し、より多くの会員との交流を促して行きたいと考えております。

一、活動方針と継続性
同窓会の活動方針は次の三本の柱を掲げています。

- ① 会員相互の親睦
- ② 生涯学習の実践
- ③ 社会への貢献

この中で③の社会への貢献はフォスター・プランへの参画で、目的が明確になつておりますが、右記①②に関しては「的を得て抽象的」の感が致します。つまり、もつと具体的に取組む必要を感じております。具体化の主旨は、向学心旺盛な会員の皆さ

んが対象ですから、学習とか研修を含む交流の場を皆さんにも提案してもらい、同窓会役員会を媒体として、会が有機的に活動するように進めることです。これにより、役員会からの定期的な行事計画の他に、会報「波瀾」を通じて情報の交換と交流が活発になります。会報の頁数が増えるのは歓迎すべきことで、顔を合わせた交流もあれば、紙面上の交流もありです。これを踏まえて、サークル活動が始動したことは嬉しいことです。一つの行事が大勢集まるのも楽しいけれど、各々の得意分野で継続できる集まりも素晴らしいと思います。一朝一夕で事は成り立ちませんが、会員の皆さんが魅力を感じる同窓会に育てて行きたいと思っております。

二、十周年記念行事に関して
① 神奈川学習センター同窓会は来春、「波瀾」十周年記念特集号を発行します。

これには平成十二年三月までに入会された全会員の名簿を掲載します。楽しい内容に努めますのでご期待ください。

② 連合会指導の十周年記念行事は概要を「連合会だより」に掲載しましたが、地域単位の活動で神奈川は「十周年記念文化祭」を提案しました。会員を始め学習センター教職員や学生からも、絵画・書道・写真を出品してもらい、一堂に会して文化人の発掘をしようというものです。奮って皆様のご参加をお待ちします。(詳細後報)

三、終身会員の取扱いについて
本件は、私が「波濤」第十七号で審議云々を記述しましたが、これは平成十年四月の旧本部総会で審議されたものであり、各同総会が再審するものではありません。ここに訂正しお詫び致します。

神奈川学習センター同総会の運営方針としては、年会費を納入されていない終身会員の取扱いについて総会で話し合いました。そこでは「再度納金を促し、その後の未納者には会報等の送付を停止する。ただし終身会員として名簿には存続する。としました。
☆終身会費とは、平成十年三月までの入会者で、旧同総会本部の会員名簿に登録されていた方です。

連合会だより

一、第二回総会開催(四月十七日、東京第二)

(一)平成十一年度役員
規定により会長、副会長、事務局長の三役が交替致しました。
新三役は次の通りです。
会長：岩田 稔(東京第一)
副会長：二村国太郎(東京第二)

事務局長：有田益雄(東京第一)
前会長の鈴木喜代さん(群馬)、事務局長の飯塚次雄さん(群馬)ご苦労さまでした。

(二)平成十一年度事業計画
① 連合会報編集(東京第一担当)
② 連合会のホームページを作り有志によるメーリングリストを設定
③ 同総会全国化支援
(全国化委員 鈴木喜代氏)

二、十周年記念行事実行委員会

各同総会で次のような記念行事が計画されています。所属に関係なく誰でも参加できます。

- ① 連合会：祝賀会、来春、東京又は近郊
- ② 連合会：記念誌、来春、全会員に配布
- ③ 神奈川：文化祭、来春、絵画・書道・写真展
- ④ 千葉：研修旅行、来年、房総半島一泊
- ⑤ 東京第二：発表会、来春、「私の主張」
- ⑥ 東京第三：散策会、来春、手賀沼近辺
- ⑦ 群馬：歩こう会、十月二日(土)十月九日(土)秋の三国街道を歩く(約八キロ)二回にわたり各五十名募集
申込・問合せ先(締切九月二十五日)鈴木喜代 ☎0279-22-1338 剣持昇一 ☎0273-85-4926
- ⑧ 東京第一：「歴史の陰を歩く」十月三十一日(日)江戸時代の刑罰「引き回しコース」を歩く
申込先・問合せ先(締切十月十日)高橋照一郎 ☎03-3680-9334

第十回通常

総会報告

第十回放送大学神奈川学習センター同窓会通常総会は、平成十一年五月十六日(日)午後一時から神奈川学習センター第二講義室に於いて開催された。伊東副会長の司会により藤井会長挨拶、議長団選出の後、次の議案が提出され審議された。

- 一、平成十年度活動報告
 - 二、平成十年度収支・決算報告及び監査報告
 - 三、平成十年度フォスター・プラン活動報告
 - 四、平成十年度フォスター・プラン収支・決算報告及び監査報告
 - 五、平成十一年活動計画
 - 六、平成十一年収支・予算
 - 七、平成十一年フォスター・プラン活動計画
 - 八、平成十一年フォスター・プラン収支・予算
 - 九、平成十一年度補充役員の承認
 - 十、その他
- 藤井会長から放送大学同窓会の組織改編に伴う終身会員の取扱いについて運営費枯渇問題を含め説明があった。第十回総会以降二年間の猶予期間を設け、この間にも年会費納入を促しその後の未納者には、会報発送等のサービスを停止させて戴く。但し、会員名簿は存続すると説明があった。

【総会成立の確認】

会員数六七一名
(平成十一年三月三十一日現在)
出席者三二名 委任状数三一五名
合計三四七名
会則第十二条により総会は成立した。

平成十一年度活動計画

- 一、定例活動
① 総会の開催 五月十六日(日)
② 役員会の開催(年七、八回)
③ 会報「波濤」の発行(年二回)
二、親睦会・見学会・講演会など
① 講演会 五月十六日(日)総会終了後
演題：「洋楽移入の入口―横浜―」
講師：放送大学助教授 笠原 潔氏
② 懇親会 五月十六日(日)総会終了後
③ 見学会 六月二十日(日)
森へ行こう!

「横浜動物園ズーラシア」
「県立 四季の森公園」
④ ハイキング十月頃「鎌倉散策第四回」予定
三、社会への貢献
フォスター・プラン(発展途上国の子供と、その家族や地域に対する経済的・精神的援助活動)への参加。

四、その他

- ① 放送大学連合会への参画
- ② 卒業祝賀会への参画
- ③ 新規会員の募集活動

平成十一年度フォスター・プラン活動計画

- 一、フォスター・チャイルド四名への援助継続と交流
バロバラちゃん(十三歳) バングラデイ(シュ)
- 二、ソムチャイ君(十二歳) タイ)
ルーシーちゃん(十二歳) ケニア)
レオニダス君(五歳) エクアドル)
- 三、広報活動の促進
一、現地訪問
一月初旬タイ国東北部ウドーンタニ地方を訪問予定。(費用自己負担：参加者募集)

会 計 報 告

平成10年度 収支決算報告
(平成10年4月1日～平成11年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
1. 収入の部		
(1) 前年度繰越金	1,077,024	1,077,024
(2) 本部給付金	150,000	105,000
(3) 入会金	100,000	169,496
(4) 本部配布金	3,232,630	2,866,688
(5) 本部年会費	730,000	489,000
(6) 寄付金	20,000	20,089
(7) 利息	1,500	4,516
収入合計	5,311,154	4,731,813
2. 支出の部		
(1) 活動費	200,000	152,490
会報費	100,000	87,760
活動運営費	100,000	64,730
(2) 事務局運営費	932,000	673,822
連合会会費	73,000	0
会議費	30,000	27,760
交通費	200,000	78,070
通信費	218,000	229,150
振替手数料	51,000	30,255
消耗品費	50,000	36,188
交際費	40,000	24,200
備品費	250,000	248,199
雑費	20,000	0
(3) 予備費	100,000	0
(4) 会員名簿引当金	100,000	100,000
(5) 終身会費基金	3,232,630	2,866,688
(6) 次年度繰越金	746,524	938,813
支出合計	5,311,154	4,731,813

フォスター・プラン

平成10年度 収支決算報告
(平成10年4月1日～平成11年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額	決算額
1. 前年度より繰越	662,316	662,316
2. 収入の部		
(1) 寄付	300,000	355,000
(2) 同窓会より助成金	10,000	10,000
(3) 預金利子	300	459
小 計	310,300	365,459
合 計	972,616	1,027,775
3. 支出の部		
(1) 援助金	240,000	205,000
(2) 特別寄付	100,000	100,000
(3) 活動費	10,000	12,100
(4) 事務費	10,000	11,179
(5) 通信費	5,000	5,320
小 計	365,000	333,599
4. 次年度へ繰越	607,616	694,176
合 計	972,616	1,027,775

平成11年度 収支予算
(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額
1. 収入の部	
(1) 前年度繰越金	3,905,501
(2) 入会金	135,000
(3) 支部年会費	516,000
(4) 寄付金	20,000
(5) 利子	3,000
合 計	4,579,501
2. 支出の部	
(1) 活動費	200,000
会報費	100,000
活動運営費	100,000
(2) 事務局運営費	510,000
連合会会費	0
会議費	30,000
交通費	100,000
通信費	250,000
振替手数料	40,000
消耗品費	50,000
交際費	30,000
雑費	10,000
(3) 会員名簿引当金	100,000
(4) 予備費	100,000
(5) 次年度繰越金	3,669,501
合 計	4,579,501

フォスター・プラン

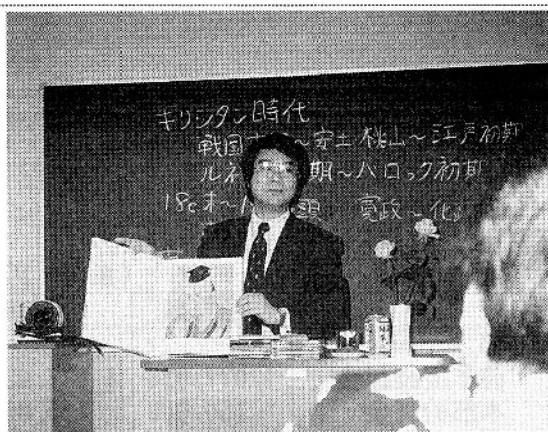
平成11年度 収支予算
(平成11年4月1日～平成12年3月31日)

(単位：円)

科 目	予算額
1. 前年度より繰越	694,176
2. 収入の部	
(1) 寄付	300,000
(2) 同窓会より助成金	10,000
(3) 預金利子	400
小 計	310,400
合 計	1,004,576
3. 支出の部	
(1) 援助金	240,000
(2) 活動費	10,000
(3) 事務費	10,000
(4) 通信費	5,000
小 計	265,000
4. 次年度へ繰越	739,576
合 計	1,004,576

『洋楽移入の入口・横浜』の講演について

出口 仁美



【講演 笠原 潔 助教授】

演プログラムのコピーを、笠原先生がご苦労の末、入手された。それによると、「スワニー河」等の曲で有名な当時現役であった、ステファン・フォスターの「主人は冷たい土の中」等、十二曲が載っている。

ペリー来航時に演奏された曲が、現在小学校で教えられている西洋音楽の基礎となっているとのことである。

幕末の役人達が、チョンマゲに帯刀という姿で、この様な曲をどういう気持ちで聞き、感じ取っていたのか、想像するダニおかしいが、音楽そのものからは、時代の隔たりを少しも感じないから不思議である。ここに音楽とか、芸術の良さがあるのである。

いづれにしても港町横浜が江戸に先駆けて洋楽移入の入口となり、下地を作った訳である。神奈川学習センターに身を置く我々にとって、ましてや横浜生まれの私にとって、今回の講演内容はとても身近に感じられ、興味深い内容と共に、音楽を聴きながらのとても楽しいひとときであった。

スーラシア見て歩き

久保 洋子

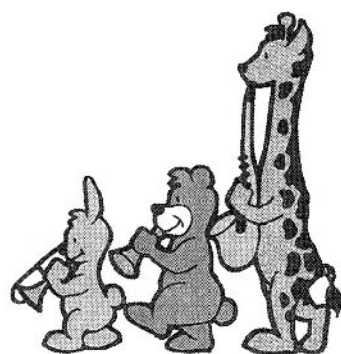
水中でフサフサした白い毛を波打たせたダイナミックな泳ぎを披露してくれた北極熊、目の前のガラスを勢いよくドーンと蹴って折り返す、その泳ぎを見ていた子供達が、すかさず「ワーツイヌカキだー」と、その鋭い観察眼に熊もシマツタと、自分の迂闊さを悔いたにちがいない。後ろ足をドラッグとして前足だけ交互に水を掻いて泳ぐ姿には勇猛な巨体から想像するものを見事に覆された。見る側と見られる側の無邪気さに童心に返る思いがした一瞬であった。

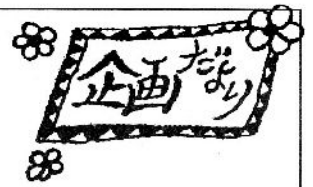
オージーヒルという軽食レストランと、縫いぐるみなどのお店がある休憩場所で一休み、持参のおやつと飲み物をいただき、取っておきのポースをフィルムに収めた。



梅雨の真つ只中、朝方の小雨も午後集合時間ごろには、照らず降らずの絶好のスーラシア日和となった。人口から出口間での約三時間、世界の各々のゾーンごとに程よく配置された園舎をまわり、動物たちのしぐさや表情に、おもしろおかしく勝手な思いや注釈を加えながら、たっぷり楽しむことができた。やはり動物とは、読んで字のごとく活発に動き回るものの方が見ていて楽しい。そういう意味では、サルの種類が多いのも嬉しかった。中でも「キンシコウ」は、輝く金髪を持ち主、こどもは隼のように空中を飛び回って、たびたび失敗して木から落ちる。そうしては親と思われるサルに叱られている光景は、まさに我々人間の日常に重なる微笑まじささえ感じられる。それにしても鳥たち・動物たちは、自らの意志で装うわけでもないのに、その姿や色彩の美しさは見事である。

このスーラシアは絶滅が危惧されている動物たちの保存をも目的として、そこに住む動物に適した環境づくりがなされているということである。移動する道すがらに咲いている花々や植物に目をとめながら、子供も大人も誰でも楽しめるような心くぼりや工夫を随所に感じ、快適に過ごすことができた。よく歩き、珍しい動物たちとの出会い、同窓会の皆さんとの交流など心身ともにリフレッシュできた一日となった。





小ハイキングへのお誘い

優しい風に吹かれて香るコスモスの花やハーブ園を見に「くりはま花の国」に行きませんか？

展望台から見える久里浜港はなかなかノスタルジックな風情がありますよ。

なお、昼食は園内レストラン「うおくに」でとります。ランチ代は約千円です。

見学場所：くりはま花の国

横須賀市神明町1番地

日時：平成11年10月3日(日) 11時集合

集合場所：京浜急行線 久里浜駅改札口

申込締切：平成11年9月27日

申込先：佐々木 順子

Tel : 045-472-6482

冬は熱燗で一杯どうですか？

首都圏では数少ない見学、試飲、購入のできる蔵元、泉橋酒造を見学する予定です。

昼食には竹藪に囲まれた一軒家のそば屋さん(葎葉庵)で、打立てそばを味わいましょう。歩きやすい履物をお勧めします。

見学場所：泉橋酒造 0462-31-1338

日時：平成12年1月29日(土)

集合場所：相鉄線 海老名駅改札口

申込締切：平成11年10月30日

申込先：出口 仁美

Tel・Fax : 0467-24-0160

同窓会の皆様によるサークル発足について



前回の波濤に掲載した標記のことについて、2つのサークルを次の通り発足することになりました。皆様のご参加、お申込を心からお待ち申し上げます。

1. Shall we dance?

ソシアルダンスには多くの楽しみがあります。音楽に合わせて体を動かすこと、いろいろな方々との出会い等、私たちの人生をより豊かなものにしてくれます。

年2回(12月と7月)優雅で華麗なダンスパーティーを開催する予定です。そのための練習として、初心者を対象に月1~2回程度楽しく練習しましょう。(諸費 月200円程度)

第1回の練習日は10月9日(土)午後1時30分から4時30分まで

神奈川学習センター2階第4講義室にて行います。

* パーティー 平成11年12月18日(土) グランドパレス 関内寿宴地下

午後7時から 参加費 5千円程度(軽食付) パーティーのみの参加も可能。

* 問合せ・申込先 練習については随時、12月のパーティーについては11月30日まで

西浦 久晏 Tel : 045-781-4638/森西 節子 Tel : 045-362-5121 (20時以降)

2. エンjoyしましょうグランド・ゴルフ!!

スポーツの秋です。さわやかにニュースポーツを始めませんか。

1つのボールに集中して無心に遊んで健康づくりする人、

この指とまれ...ご参加をお待ちしています。

用具：会にて準備します。 会費：月200円

第1回(発会式を兼ねて)平成11年10月17日(日)

神奈川学習センター1階ホールに午後2時集合

* 申込み、問合せ先 金子 和子 Tel・Fax : 045-621-3387



お知らせ

10月または11月予定の「鎌倉散策第5回」は来春、6月の花の頃に日程変更します。

フオスター・プラン報告

片山 洋子

神奈川学習センター同総会では、平成三年末にフオスター・プラン実行委員会を設立し、フオスター・プラン活動に参加して参りました。

フオスター・プランは、特定の宗教、政治に関係のない国際援助機関です。活動の中心は途上国の子供や家族と手紙などで交流を持ちながら、その子供の住む地域の生活向上を支援するフオスター・ペアレント制度です。

フオスター・ペアレントが支払う援助金は、チャイルド一人当たり、月々五千円です。実行委員会は、平成四年の初め、「放送大学神奈川支部」という名前でフオスター・ペアレントとなり、主に会員の皆様からのご寄付によって運営して参りました。最初はチャイルド一人だけでしたが、現在はチャイルド四人を援助しております。

このように順調に歩んで来られましたのも、ひとえに会員の皆様のご支援のおかげでございます。本当にありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

今年三月十四日には(財)日本フオスター・プラン協会より松本紀子さんと広本正都子さんをお迎えし、講演会を開催致しました。松本さんには、チャイルドの住む地域でのコミュニティ開発プロジェクトについて、フオスター・プランの活動分野と指針に関する基本的な説明を伺いました。一つのプロジェクトの期間は三年から五年であり、計画から実施、実施から評価、評価から計画へと巡るサイクルの中で住民たちがプロジェクト遂行の主力を努めるというお話しでした。広本さんには、エルニーニョ緊急支援プロジェクトについて報告していただきました。このプロジェクトでは、大雨災害時と被災後とはなすべきことが違うということや、生計分野での復興プロジェクトにはまだ手が回っていない

という事などのお話しを伺いました。また、近年、世界中で大きな自然災害が続出していますが、先進国の人々の生活様式が歪みとなって途上国に災害となつて現れるという面もあるのではないのでしょうかとお言葉が印象に残りました。実行委員会はチャイルドとの文通交流を続けており、今年八月後半にはチャイルド四人にお手紙を出しました。尚、会員の皆様には引き続きご支援を賜りたく(強制ではありません。金額も自由です。)郵便振替用紙を同封させていただきますので、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

お詫び

前回波濤十七号で同窓会年会費納入お願いの欄で「平成十年」とすべきところ「平成十一年」となつていたため、皆様に大変ご迷惑をお掛け致しました。お詫び致しますと共に今後とも宜しくお願い致します。

皆んなで一声

放送大学への入学を

呼び掛けましょう!

平成十二年一学期の出願受付は平成十一年十二月十五日から資料配布は十一月末からです。

【資料請求・問合せ先】

神奈川学習センター
☎〇四五―七二〇―一九一〇

同窓会年会費納入のお願い

神奈川学習センター同窓会では、会員の皆様に年会費1,000円を納入して戴いていただきます。用紙に控を添付の上、郵便振込票の封筒に入れて送付してください。平成10年度分は、同封の領収証を添付し、お振込みの方には、お振込みの宛先をお知らせください。また、既納の方には、お振込みの宛先をお知らせください。お振込みの宛先をお知らせください。お振込みの宛先をお知らせください。

口座番号 00250-4-16183
〒232-0061
横浜市南区大岡2-31-1
放送大学神奈川学習センター
同窓会事務局
問合せ先 0463-74-1055(会計 久保)

平成11年度役員

- | 役員 | |
|------|-----------|
| 会長 | 明一 森西 節子 |
| 副会長 | 廣一 龍造 寺 寛 |
| 事務局長 | 伊東 上原 哲雄 |
| 局長 | 田澤 片野 克巳 |
| 理事 | 越川 久保 洋子 |
| 監理 | 飯塚 佐々木 順子 |
| | 岡田 西浦 久美 |
| | 金子 和子 美 |
| | 小山 仁 星 |

- 【フオスター・プラン実行委員】
 廣一 明一 伊東 田澤 星
 恒夫 輝 輝
 稲葉 あい 輝
 成子 加藤 井 西
 一子 幸 和
 嵐山 幸 和
 五十片 松岡

- 【役員退任者】
 石井 次子
 カヨ 石井 次子
 林 本
 陸生 本
 押山 皆様

計報

次の方々の計報がご家族から有りました。茲に、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。 合掌

- 井出智恵子様 (平成二年 発達と教育)
 野村 田一様 (平成三年 産業と経済)

編集後記
 今年の夏は本当に暑かった。集中豪雨による痛ましい事故、事件、吹き荒れるリストラの嵐。異常と思つていれる昨年と同じ。これが正常なのか？そんなことは無いだろう。景気は少し先が見えて来たという。脳は歳と共に退化すると云れていたが使えば使う程活性化すること。生涯学習に取り組み皆さんが何時迄も若々しい秘訣はこれだ。楽しく体を動かして汗を流そう！知恵を出そう！元氣を出そう！そう思いながら今年も編集。(伊東)